

証券コード：3747

2016年10月1日 ～ 2017年9月30日



株式会社インタートレード
Business Report 2017

報告書

////////////////////////////////////
OCTOBER 1 2016 → SEPTEMBER 30 2017



トップメッセージ Top Message

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、金融庁から金融とIT（情報技術）が融合したフィンテックの普及を目指し、関連法を再編して新法を作ることが報じられました。この新法により金融業界と一般事業会社の垣根がなくなるなど、当社を取巻く環境は大きく変わろうとしています。また、2020年の東京オリンピックにむけ、健康増進市場は注目の成長市場として期待が集まっています。

2017年9月期は金融ソリューション事業において、顧客のディーリング事業撤退等による解約が当初の想定を上回ったこと、ビジネスソリューション事業においては見込んでいた案件が受注に至らず商談が長期化したこと、ヘルスケア事業においても、原料販売の商談が延伸し棚卸資産の評価減を行ったことから、業績は大幅な赤字となりました。日頃、ご期待をいただいている株主の皆様には、多大なご心配・ご迷惑をおかけしていること、深くお詫び申し上げます。

現在、状況の改善に向けたさまざまな取り組みを実行しています。

金融ソリューション事業では、この急速な変化を見越し、フラッグシップサービス『Spider』を大手総合商社から

代表取締役社長

尾崎 孝博



ご採用頂くなど、金融業界のみならず、一般事業会社にもサービスを展開しビジネス領域の拡大を図っていきます。ビジネスソリューション事業では、企業システムの高度化、複雑化が加速している中で経営判断・意思決定に必要な情報をシームレスに連携・統合できるサービス『GroupMAN@IT e²』の営業活動を強化し導入社数を増やしていきます。ヘルスケア事業では「食」を通じた健康維持の考え方が改めて見直され、多くの企業がビジネスの改善や参入を考えている中、ハナビラタケを通じて健康、美容を実現できる当社に大きな期待が寄せられています。

一刻も早い黒字転換、復配を目指しますので、株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業セグメントの概況

金融ソリューション事業

金融ソリューション事業では、これまで開発を進めてきた新システム『Spider』が大手総合商社に採用されるなど、証券会社を中心とした金融業界でビジネス展開してきた当社にとって、新たな領域へのサービス展開を進めるなどの成果があった一方で、証券ディーリングシステム及び取引所関連システムにおいて取引額が大きい顧客の解約が大きく影響し、売上高は前期比80.6%となりました。損益面においても、継続的なコスト削減を行ったものの、売上減少分を補うには至らず、セグメント損益は前期比64.6%となりました。今後も『Spider』の付加価値をさらに向上させ、金融業界のみならず事業会社への展開を目指します。

ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業では、自社開発の経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@IT e²』において既存ユーザーから追加受注を獲得し、サポートセンターにおいても複数社から受注する一方で、当期に受注を見込んでいた案件の進捗に遅れが生じ、次期以降もその受注活動を継続するなどの影響により、売上高は前期比97.4%となり、セグメント損失は58百万円となりました。今後も『GroupMAN@IT e²』を主力としたパッケージシステムの販売やサポートセンター業務の営業活動を強化し、事業会社へのチャネルと中長期的な収益基盤の構築に努めていきます。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、ハナビラタケ製品を中心に販路拡大に一定の成果があり、売上高は前期比113.4%となりました。また、産学官の共同研究「ITはなびらたけプロジェクト」の成果が認められ、RIZAP株式会社の新規事業に「ITはなびらたけ」が採用されるなど、認知度向上にも成果がありました。一方損益面は、共同研究やハナビラタケ製剤化に向けた研究開発費を含む先行投資の増加などにより、セグメント損失が424百万円となりました。今後はパートナーとの協業を促進し、『ITはなびらたけ』の知名度と事業の収益性を高めていきます。また、海外においてもバングラデシュ人民共和国への進出を中心に、ハナビラタケ商品を輸出する先駆者としてのブランドを確立していきます。

3事業の成長戦略

金融ソリューション事業

金融業界では、引き続きディーリング業務を行う証券会社が減少する可能性があります。また、銀行も含めた金融業界全体の再編等が行われる可能性も高く、証券会社向けシステムを主力製品とする当社にとっては、まさに変革の時期にきていると考えられます。

当社の金融ソリューション事業では、創業以来、金融事業法人を対象に、ミスの許されない環境においてリアルタイムで動く株式売買システムを開発して実績を積み重ねてきました。そして2017年9月、その集大成とも言うべき金融商品取

引向けトータルソリューション『Spider』を、大手総合商社に導入しました。これは、東京証券取引所やPTSなどのマーケットに接続して取引を行う機能に加え、これを導入した会社自体が自身の顧客等へマーケット環境を提供できる機能を備えた、フィンテックのベースとしての新しいインフラです。また、導入企業の業務内容に応じて必要なプロセスやアプリケーションを柔軟に組み合わせ、顧客専用の機能を提供する「ハーフスクラッチ型」等のサービスモデルを採用し、一部システムの基幹部分を自製したことで、ノウハウ流出リスク

の低減、運用・保守制の向上を実現しています。

この実績を足がかりに、今後は『Spider』をベースとして、金融業界のみならず、新たな領域として一般事業会社への展開を目指します。そのため、『Spider』の更なる開発、強化を進めるとともに、営業面においても、アライアンスやパートナー等についても踏まえながら積極的な販売活動を行っていきます。



ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業では、あらゆる稼働済システムを統合管理可能なマルチベンダー対応に加え、業況把握から業績予想までを一気通貫で行う機能を持った経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@IT e²』を中心としたパッケージシステムの販売と、保守・運用を中心としたエンジニア派遣 (SES) サービス及びサポートセンター業務を3本柱として展開しています。SES事業は順調に推移し、安定的に収益を確保しています。サポートセンター業務では、新規契約の獲得が進み、実績の積み上げが進捗しています。パッケージ販売では、『GroupMAN@IT e²』が大手企業からの受注にも成功し、契約社数が増加しています。こ



れまでの積極的な販売活動の結果、少しずつ引き合いが増加しているため、これらの受注を確実に獲得し、事業基盤を安定させることを最優先として取り組んでいます。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、「ハナビラタケ」の生産・加工・販売を中心に健康食品や化粧品等の生産・販売を行っています。ハナビラタケには、βグルカンを始めとした各種有効成分が含まれていますが、なかでも産学官共同研究において当社グループが栽培した『ITはなびらたけ』にはサイレントエストロゲンという新しいタイプの有効成分が含まれていることが発見され、健康美容向けに効果が期待できる食材であることが確認されました。この『ITはなびらたけ』は、日本スーパーフード協会から素材としては日本で初めてジャパニーズスーパーフードとして認定を受けたほか、RIZAPが栄養学に基づいて開発した新しい総菜ブランド「zapDELI」のメニュー

にも採用されました。さらに、日経トレンディにおいて、2018年注目の食文化にハナビラタケが紹介されるなど、これまでの大きな課題であったハナビラタケの知名度向上を加速させる基盤が整いつつあります。今後は、バングラデシュ人民共和国を中心とした海外への輸出も含め、原料販売、OEM、直販を通じてハナビラタケ商品に特化した事業のいっそうの展開を推し進めます。

ITはなびらたけ



連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表の概要

	(単位：千円)	
	当期 2017年9月30日現在	前期 2016年9月30日現在
資産の部		
流動資産	1,519,192	1,843,643
固定資産	265,739	355,611
有形固定資産	49,904	49,549
無形固定資産	10,708	19,807
投資その他の資産	205,126	286,254
資産合計	1,784,931	2,199,254
負債の部		
流動負債	310,111	371,241
固定負債	74,005	72,103
負債合計	384,117	443,345
純資産の部		
株主資本	1,400,552	1,735,321
その他の包括利益累計額	-	20,300
純資産合計	1,400,814	1,755,909
負債純資産合計	1,784,931	2,199,254

連結損益計算書の概要

	(単位：千円)	
	当期 2016年10月1日から 2017年9月30日まで	前期 2015年10月1日から 2016年9月30日まで
売上高	2,017,542	2,358,534
売上原価	1,550,505	1,454,553
売上総利益	467,036	903,980
販売費及び一般管理費	925,297	892,036
営業利益（損失△）	△ 458,260	11,944
営業外収益	2,357	7,560
営業外費用	3,161	4,811
経常利益（損失△）	△ 459,064	14,693
特別利益	139,572	1,582
特別損失	4,039	74
税金等調整前当期純利益（純損失△）	△ 323,531	16,201
法人税等	11,237	9,143
親会社株主に帰属する当期純利益（純損失△）	△ 334,769	7,057

当期の財政状態

■ 資産、負債及び純資産の状況

当期末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は、前期末に比べ414百万円減少し、1,784百万円となりました。自己資本比率は78.5%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は442.9%であり、安定性の高い財務体質となっています。

■ 資産の状況

総資産合計1,784百万円のうち、現金及び預金が1,177百万円（構成比66.0%）を占めています。その他の主な資産は、受取手形及び売掛金195百万円（同11.0%）、棚卸資産49百万円（同2.8%）、投資有価証券81百万円（同4.6%）です。

■ 負債・純資産の状況

負債合計384百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計は229百万円（負債及び純資産に対する構成比12.9%）です。純資産合計1,400百万円の主な内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金△777百万円、自己株式△95百万円です。

■ キャッシュ・フローの状況

当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末より153百万円減少し、1,177百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローが318百万円の純支出、投資活動によるキャッシュ・フローが186百万円の純収入、財務活動によるキャッシュ・フローが21百万円の純支出となりました。

会社情報／株式情報

株式の状況（2017年9月30日現在）

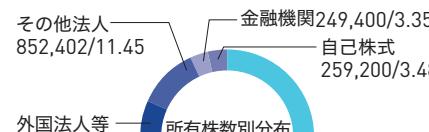
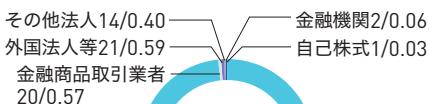
発行可能株式総数	26,712,000株
発行済株式総数	7,444,800株
1単元の株式の数	100株
株主数	3,523名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
西本一也	1,346,400	18.09
ジャパンインベストメントアドバイザー	644,000	8.65
カブドットコム証券	643,700	8.65
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISC (FE-AC)	403,700	5.42
インタートレード (自社株)	259,200	3.48
日本証券金融	246,900	3.32
尾崎孝博	230,000	3.09
赤木屋ホールディングス	170,000	2.28
SBI証券	161,900	2.17
西本かな	125,500	1.69

※比率の計算は小数第3位四捨五入

株式分布状況（2017年9月30日現在）



※単元未満株含む
※比率の計算は小数第3位四捨五入

会社の概況（2017年9月30日現在）

商号	株式会社インタートレード
設立	1999年1月25日
本社所在地	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目17番21号 茅場町ファーストビル3階
資本金	14億7,843万円
従業員数	101名
主な事業	金融ソリューション事業 ・証券ディーリングシステムの提供 ・外国為替証拠金取引システムの提供 ・取引所外取引システムの提供 ビジネスソリューション事業 ・経営統合管理ソリューションの提供 ・PC運用管理ツールの提供 ・システムエンジニア派遣/ビジネスサポートの提供 ヘルスケア事業 ・健康食品及び化粧品等の企画、開発 ・機能性キノコ「ハナビラタケ」の生産

役員紹介（2017年12月22日現在）

代表取締役社長	尾崎孝博
取締役副社長	西本一也
取締役	阿久津智巳 (社外) 安田幸一
常勤監査役	川瀬宏史
監査役	東原豊 内田久美子

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日
期末配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 口座管理機関
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel: 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部

電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.itrade.co.jp/ir/announcement>
公告の方法
ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない理由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

〈ご注意〉

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

…………… 株主様ご優待のご案内 ……………

当社では、皆様の日頃からのご厚情に感謝するとともに、一人でも多くの株主様に商品をご体験いただきたいとの思いから、株主優待制度を導入しております。9月末時点の株主様に、当社子

会社が運営している通販サイト『健康いいもの online』及び本社併設サロンにてご利用できるクーポンコードをご提供しています。ぜひこの機会にお試ください。

■対象商品

当社子会社の株式会社健康プラザパルが運営する『健康いいもの online』及び本社併設サロンにて取り扱う全ての商品(定期コース及び一部割引との併用不可)



■優待特典

5,000円以上のお買い物につき1回ご利用できる2,000円の割引クーポンコードをお配りします。保有期間に応じて割引券の枚数が変わります。詳細は下記の表をご参照ください。

継続保有期間3年未満	2,000円割引のクーポンコード×6枚
継続保有期間3年以上	2,000円割引のクーポンコード×12枚

※継続保有期間とは同じ株主番号にて保有されている期間を指します。

■対象となる株主様

9月末現在100株以上保有の株主様が対象になります。

■ご利用方法

株主会員登録を行っていただく必要がございます。ご登録後のお買い物時にカート内の所定の欄にクーポンコードをご入力いただくことでご利用ができます。また、本社併設サロンにてご利用いただく場合は、クーポンコードをご持参ください。詳細については当社ホームページの株主優待ページをご参照ください。

■ご利用にあたっての注意事項

- ・クーポンコードは1回のご利用で1枚に限り有効です。
- ・優待特典は通販サイト「健康いいもの online」及び本社併設サロンに限り有効です。
- ・株主様の当社保有状況は株主番号で管理しております。所有株式を全て売却された場合や証券会社の貸株サービスをご利用される場合は、株主番号が変わり継続性が途切れる場合がございます。

インタートレード 株主優待 🔍 検索